

「2019 年やまがた公益大賞」募集要領

1 目 的

この賞は、地域課題の解決に取り組む様々な公益活動を顕彰し、県民に広く紹介することにより、公益活動への県民の関心を高め、積極的な参画を促すとともに、NPOをはじめとした県民の公益活動を活性化することを目的としています。

2 顕彰の対象

以下の（1）から（3）までの全ての条件を満たす活動とします。

- （1）山形県内に拠点をもつNPOをはじめ団体や企業などが取り組んでいる公益活動（ボランティア活動含む）で、山形県内において大きな成果を収めている活動
※ 災害（東日本大震災等）に関する支援活動について、山形県内のほか、他県の被災地における活動も広く対象とする。
- （2）平成 31 年 4 月 1 日時点で現に行われている活動（概ね 2 年以上行われている活動）であり、今後も継続が見込まれる活動
- （3）これまでに国又は県から表彰を受けていない活動

[対象となる活動分野の例]

- 保健・医療・福祉の増進 ○社会教育の推進 ○まちづくりの推進 ○観光の振興
- 農山漁村または中山間地域の振興 ○学術、文化・芸術、スポーツの振興
- 環境の保全 ○災害救援 ○国際協力 ○子どもの健全育成 ○経済活動の活性化

3 応募（推薦）方法

応募は、自薦・他薦どちらでも構いません。

やまがた公益大賞推薦調書に必要事項を記入のうえ、必要書類を添えて、応募先まで提出（持参又は郵送）してください。

《応募書類》

- ① やまがた公益大賞推薦調書
- ② 定款または規約
- ③ 参考資料（A4判片面4枚まで）
 - ・活動の様子等を撮影した写真（説明を付記したもの）
 - ・活動を紹介した新聞記事、会報等の写し
 - ・その他、参考となる資料

《締切日》

令和元年 12 月 5 日（木） 必着

《留意事項》

- 他薦に当たっては、被推薦者からあらかじめ了承を得てください。
- 応募書類に不明な点がある場合は、照会をさせていただきます。
- 様式は、山形県のホームページからダウンロードできます。

4 顕彰区分

やまがた公益大賞・グランプリ	1件以内	(副賞：県産品ギフト5万円相当)
やまがた公益大賞	2件程度	(副賞：県産品ギフト1万円相当)

5 審査方法

(1) 審査方法

山形県NPO推進委員会における公開プレゼンテーション審査[※]を経て、県が決定します。

※ 審査にあたり、10分程度で活動内容の発表・説明(質疑応答含む)をお願いします。
プレゼンテーションは、令和2年1月中旬に開催予定です。

(2) 審査基準

① 活動の効果

- ・ 地域課題の解決への寄与(活動により、地域課題の解決に寄与しているか)
- ・ 活動の範囲、幅(活動範囲や受益者は、ある程度幅広いか)
- ・ 地域への波及効果(活動は地域に定着し、波及しているか)

② 活動のモデル性

- ・ 必要性(社会的な意義、緊急性が高い活動か)
- ・ 先駆性・独創性(独自のアイデア等による先駆的な取り組みか)
- ・ 継続性(継続的に取り組まれているか、今後の継続が見込まれるか)
- ・ 協働性(他団体との連携、協働への意識が高いか)

6 授賞時期

令和2年2月下旬(予定)

[過去のグランプリ受賞団体活動例]

◇ 2018年 特定非営利活動法人明日のたね(鶴岡市)

子育て支援拠点の運営及び子育て応援情報サイトによる情報発信等により、子育てしやすい地域づくりに寄与する活動

◇ 2017年 置賜農業高校豆ガールズ(川西町)

川西町の伝統野菜「紅大豆」を地元の女子高生が主体となり、NPO法人、町、大学等と連携し、食育活動等を通して、紅大豆文化の復活と地域活性化に寄与する活動

◇ 2016年 あいらぶ末広楽市楽茶(山形市)

地域の活性化を目指し、2ヶ月に一度「楽市楽茶」を開催し地域の賑わいづくりの創出や地域住民が集う「場作り」活動

【問合せ・応募先】

山形県観光文化スポーツ部県民文化スポーツ課 県民活動推進担当

[住所] 〒990-8570 山形市松波二丁目8-1

[電話] 023-630-2122 [FAX] 023-624-9908